



# せせらぎ



No.399 2023年1月号

滋賀県勤労者山岳連盟



## 目次

---

- 表紙からのメッセージ
- 私のひとりごと
- 1月例会山行案内【東山トレイル】
- 1月例会山行案内【金峰山】
- 1月例会山行案内【帰帆島探鳥】
- 11月山行記録【イブネ・雨乞岳】
- 12月山行記録【青葉山】
- 12月山行記録【入道ヶ岳】
- 11月山行記録
- お知らせ・編集後記

## 1月の予定

---

- |   |      |               |           |
|---|------|---------------|-----------|
| ○ | 3日   | 例会山行 京都東山トレイル | 12/28 締切り |
| ○ | 7~8日 | 例会山行 金峰山（奥秩父） | 12/20 締切り |
| ○ | 22日  | 例会山行 帰帆島探鳥    | 1/17 締切り  |

## 表紙からのメッセージ

---

新年号に相應しい写真を探しました。

金峰山 頂上直下の岩の隙間から眺めた富士の朝焼けです。

例会山行も計画されていますので、リアルな絶景を目に焼き付けてください。

## わたしのひとりごと

### 愛宕山の一晩



はるか昔、小学六年生の時に愛宕山を夜に登った。記憶している限りでは、遠足やハイキングを除いて初めての山登りだったと思う。愛宕山は山頂に全国900社ある愛宕神社の総本社があり、京都市民にとってはとても身近で馴染み深く、登ったことのある人は多い。

で、どうして小学生のガキが夜の夜中に山登りしておるのかというと、当時なりゆきで入会していたボーイスカウトの行事の一つで、大晦日の夜から年越しにかけて参拝する「おけら参り」という古式ゆかしいローカルな慣習を、ボーイスカウトらしく山に登って参ろうではないか、というなんともハタ迷惑な行事だったのであった。

大晦日の夜、スカウトの制服をビシッと決めて背中にキスリングザックを背負った一行は、ヘッドライトを点けてそろそろと登り始めた。

やがて年長者はどんどん先に行き、置いてきぼりを食ったぼくは気が付けば一人ぼっちで周りにはだーれもいない。小学生が夜中の山に一人ぼっちである。怖くて不安で泣きそうになりましたね。

おお、そういえば後ろに五年坊を連れた隊長がいるはずではないか。ゆっくり登っていると、隊長一行のヘッドライトの明かりがチラチラと見えてきた。助かった、これぞ地獄に仏、ぼくは隊長のことを以前からお慕い申しておりました。

やがてぼくに追いついた隊長は、「何してんねん、どんどん行けや」「道がわからないです」嘘をついた。「一本道やろ！ はよ行け！」

なんということを言うのだ。あんたは鬼だ。昔からキライだったぞ。

ぼくは再び半ベソをかきブツブツ言いながら登り始める。登りながら、いろんな雑念や邪心がふつつつと沸き上がってくる。オレはいったい何をしておるのか。こんなつらくて怖い山登りなんか来ないで家でコタツに当たりながら紅白でも見てりゃよかった。恐怖と不安、後悔、憤怒、愚痴、疑問、怠惰、嫌悪、飢餓、疲労、苦痛…、除夜の鐘を聞きながら煩惱を募らせてゆく。あゝ諸行無常、色即是空…。

山頂にある社務所に入って寝袋にくるまってさっさと寝た。すっかり心が折れてしまっておけら参りどころではない。

翌朝、ピンと張りつめた空気のなかで初詣をして、わが街の景色を眺めてたら気が晴れたけど。

山登りってそうだと思う。雄大な山々や美しい景色、新鮮で透明な空気、苦痛から開放された安堵感、達成感や充実感など、頂上や山小屋に着いたら登りの苦勞なんてフッ飛ばすものです。

## 東山トレイル

後期の計画では愛宕山となっておりますが東山トレイルに変更したいと思います。伏見稲荷大社から蹴上まで歩くコースです。下山後久々に新年会を開催したいと思います。

日 時：2023年（令和5年）1月3日（火）

集合場所：JR 奈良線京都駅ホーム 9時発乗車

野洲 8:13→南草津 8:24→京都 8:42 着 新快速網干行

コ ー ス：JR 奈良線稲荷駅→伏見稲荷大社→千本鳥居→四ツ辻→泉湧寺→東山公園→將軍塚→青蓮院門跡→蹴上 4時間コースです。

持 ち 物：ハイキング程度の持ち物

申し込み：12月28日（水）

## 新 年 会

東山トレイル下山後京都駅ビル「がんこ」にて 15時30より新年会を開催します。

参加費：4000円会席＋飲み物＋追加分で合計金額を頭割りにします。

※山のみの参加 山と新年会の参加 新年会のみ参加

どれかを選択して12月28日までに申し込みください。

## 例会山行案内

### 金峰山（2599m）

奥秩父の名峰「金峰山」。日本百名山の一座ですね。ぐるりと見渡せる山頂の展望、そして頂上付近の大きな「五丈岩（ごじょういわ）」が魅力です。

今回は雪の金峰山を楽しみたいと思います。ちょっとテントは重いけど……。頑張ったごほうびはきっとあるはず！？

日時 2023年1月7日(土)～8日(日)

行程 1月7日(土) 野洲駅→瑞牆山荘P→【1H】富士見小屋（テント泊）  
1月8日(日) 富士見小屋→金峰山ピストン【7H】→富士見小屋  
→瑞牆山荘P→野洲駅

※集合時間等詳細は参加者で決めます。

装備 冬用登山装備・テント泊装備

申込み締切日 12月20日(火)

★車提供がない場合は中止とさせていただきます。申し訳ありません。

★SLは参加者から選出させていただきます。





## 探鳥例会 草津市矢橋 帰帆島で探鳥しませんか！

島の周辺には木々が立ち並び、カラ類やメジロなど、帰帆島東側の水路と琵琶湖ではカイツブリ、カワウ、淡水ガモ、海ガモ、ミコアイサ、カモメ、サギ、オオバンなど見られます。水路沿いのヨシ原ではオオジュリン、カシラダカ、アオジ、ウグイス、バンなどの姿が。

公園周辺をゆっくりと散策しながら冬鳥のバードウォッチングを楽しみましょう。



カワセミ

日時 1月22日（日） 雨天中止、小雪決行

集合 南草津駅西口 8時45分 車で分乗して「イオンモール草津」へ  
\*「イオンモール草津」直行される場合はバス停前9時集合  
交通 近江鉄道バス JR「瀬田」駅8時30分発「イオンモール草津行」  
に乗車8時45分着 200円

コース イオンモール草津～湖岸～帰帆島（公園にて昼食）～新浜田んぼ～  
イオンモール草津 \*平坦地 約5K 解散14:00頃予定

持ち物 昼食、飲物、雨具、帽子  
双眼鏡・鳥図鑑（有れば）、

参加申し込み 1月17日（火）までに

★参加申込み時には車提供の有無をお知らせください。  
直行される時はお知らせください。



## 11 月例会報告

### イブネ・雨乞岳

実施日 : 2022 年 11 月 19 日 天気: 晴れ ほぼ無風

参加者 : 4名

記録 : 6:10 野洲駅 6:30 竜王セブン -

7:15 駐車場-7:20 甲津畑登山口-8:50 蓮如上人旧跡(休憩5分)-

10:10 杉峠(休憩10分)-11:00 イブネ-11:10 イブネ北峰(休憩25分)-

12:25 杉峠-13:00 雨乞岳(休憩15分)-13:45 杉峠(休憩5分)-

14:40 蓮如上人旧跡(休憩10分)-16:00 甲津畑登山口-16:10 駐車場着

行動時間 : 8:55

予定ではイブネにテント泊の予定でしたが、翌日の雨と風の予報にて日帰り山行への変更とコースを甲津畑登山口からイブネへの往復と決定しました。

当日は、気温も穏やかで長い林道と川沿いの道を進右へ進むと杉峠です。帰りはさらに長く感じました。杉峠は右は雨乞岳、左はイブネという分岐です。

イブネ山頂にはすでに何組かの登山者がおられ流石人気の山です。辺り一面苔の絨毯に覆われまるで桃源郷に迷いこんだ感じがしました。

秋晴れの無風にて雲も無く、御在所、鎌ヶ岳、遠くは岐阜の山まで見渡せました。

帰りは時間も早いので、杉峠から雨乞岳へ登りました。足元が悪く滑りやすかったため登りと下りに苦戦いたしました。

今回の山行では急遽予定が変更となりましたが、CLの判断にて、目的のイブネへ行くことが出来て最高の山行となりました。

イブネ北峰



イブネの苔



## 一口感想

イブネでテント泊できなかったのは残念でしたが、好天の中、イブネ・雨乞岳を歩いて良かったです。イブネの苔はもちろん、その前後の広々として明るい尾根歩きは気持ちよかったです。ただ、シカの影響でしょうか、アセビだけが残っているところも多く、今後の変化が心配です。

上の方は終わっていましたが、下の方では紅葉を楽しむことができました。今度はもう少し早い時期で紅葉を楽しみたいです。杉峠にでるまで、いろんな形の古い巨木があり、また、善住坊、織田信長、蓮如上人など、千草街道の歴史も興味深かったです。

## 一口感想

イブネは、穏やかな晴天の中ゆったりとした山行を楽しむことができました。少し紅葉には遅かったようですが、葉を落とした森の中でもみじがひととき真っ赤に輝いていました。初冬の思ひ出ぶかい山行となりました。皆さん、ありがとうございます。

## 雨乞岳山頂



蓮如上人旧跡付近の紅葉



杉峠から雨乞岳のススキ





## 例会山行報告

# 青 葉 山

日 時 2022年12月4日(日)

参加者 9人

行 程 9:10 中山登山口～10:50 青葉山(東峰)～11:00 青葉神社  
～12:15 青葉山(西峰)～13:20 熊野神社～13:55 中山登山口

### 【報 告】

若狭富士といわれる青葉山行。“富士”といっても東の高浜湾側から望む姿の話で、山としては東峰(693メートル)と西峰(692メートル)の2峰からなる双耳峰。今回は中山寺からの周回コースを行了きました。

当日は曇天ではあるものの、ギリギリ山行中は雨を免れることができました。青葉山というと火山岩からなる岩場が難所。若干、岩が濡れているなかで馬の背を慎重に渡ります。数多くある鉄梯子もスリップに注意しつつ、東峰を抜けて西峰へ。西峰頂上の大岩からの眺望も、運よくガスが晴れ、海と尾根が遠くまで見渡すことができました。



▲ 東峰山頂にて

### 【感 想】

長いドライブを経て中山寺登山口へ。久しぶりの青葉山です。海に囲まれた島々を眺めながら高度を稼ぎます。高度感のある馬の背、慎重に進みながらも心地よい緊張感を楽しめました。下山し車に到着するとポツリポツリと雨 何とラッキー。師走のいい一日でした。



▲ 西峰からの眺望

朝から曇っていたので天候が気になりましたが、皆さんの日ごろの精進のおかげで、雨に会わずに楽しい一日を過ごせました。若狭富士と言われるだけあって、海から突き出した急登は、濡れた落ち葉も相まって滑りやすい山道の連続でした。登りだして1時間ほどの展望台からは、高浜町や日本海の絶景が望めました。「馬の背」から頂上までは緊張感たっぷりの時間帯でした。下山途中で「紫式部」の実のなる木を見かけました。

## 入道ヶ岳 906m

■日時 2022年12月11日(日) 晴れ

■参加者 14人

### ■行程

06:30 野洲駅を出発 新名神の鈴鹿SIでおります

08:00 登山者用の第3駐車場を出発

登りは北尾根コースです

09:20 P498 休憩

10:50 北の頭

11:00 山頂 予定より早いので ゆっくり昼食

11:35 下山開始 二本松コースで下ります

13:15 下山

14:00 2コースで帰宅するので現地で解散



### 一口感想

晴天に恵まれて気持ちの良い山行でした。

いきなり始まった急な階段の疲労は 頂上の最高の見晴らしが吹っ飛ばしてくれたような・・・最後に皆さまにきちんとご挨拶できなかつたような気がします。

今年1年お世話になりありがとうございました！

椿大神社の駐車場とトイレは、私たち登山者に優しく神様に歓迎されているように感じました。

北尾根コースは急な登りが続きましたが、よく歩かれた道で歩き易かったです。

山頂からは四日市市、伊勢湾まで見渡せ、鎌ヶ岳や御在所岳もはっきり見えました。

師走のせわしない中、大勢と歩いて幸せでした。



椿大神社（つばきおおかみやしろ）と読むのよ、と教えていただいた鳥居からスタート。いきなり急な階段、急登続きで膝が大丈夫かなあと思いながらも、ゆっくり歩いていただき頂上の鳥居拜むことができました。みなさまありがとうございました。アセビの群生トンネルがあり、青空とちょっと気が早く咲いているお花を楽しめたり。今回は北尾根、二本松ルートでしたが、また他のルートや、アセビが咲いている時期に登りたいと思いました。





## 11 月山行記録

---

### 2022年11月山行記録

山行期間	山域・山名	例会 等	参加者数		プロ グ 掲載
			会 員	会 員 外	
11/3	鈴鹿山系 / 藤原・天狗嶽		1	4	
11/3	横山岳(三高尾根～横山岳～東尾根)		2		○
11/6	二上山	例会	10	2	○
11/8	大杉谷トレッキング		2		○
11/12	イブネ	例会下見	2		
11/15	大文字山		1		○
11/18	伊吹山		1		
11/19	イブネ(鈴鹿山脈)	例会	4		○
11/27	大文字山北面		1		

※ コース、人数等は、事前に提出された計画書に基づいて記載していますので、  
実際とは異なる場合もあります。

近郊の三上山、音羽山などの個人山行は、通常は記載しません。

複数の月にまたがる山行は、両方の月に掲載しています。